

中日本ネットワーク

東海・信越・北陸

JAPAN METAL BULLETIN
Local Network

中部支社

〒460-0013 名古屋市中区上前津1丁目4番12号 上前津グリーンビル
TEL (052) 331-3371 FAX (052) 331-3374

北信越支局

〒950-0088 新潟市中央区万代4丁目2番23号 オフィス万代301
TEL (025) 244-7600 FAX (025) 244-7601

新社長登場

New President



日鉄工材

宮原 光雄氏

「当社の強みである高品質・高機能製品でお客様さまと社会に貢献したい」と第一声。日本製鉄時代は、製品の耐久性向

と抱負を語る。同社は日本製鉄のグループ企業で、電解銅箔メーカー向けのチタン製電着ドラムや冷間圧延ステ

ンドラムは国内シェア100%、世界シェアは累積本数で推定70%に上る。足元の課題は増強・導入設備の活用だ。「電着ド

ラムは高水準の生産を続けている。本年度を最終年度とする中計の中で、加工設備の増強、工場の増設、人材育成を順調に進めてお

り、下期以降はこれらの能力をフルに発揮する。CFBについては、国内で唯一のCFB用下地砥石研磨と仕上げバフ#400研磨機を導入し、極めて高い表面光沢度を要求される#400研磨品を内製化した。今後拡販

を進めていきたい」と話す。中長期の課題については、スマートフォン、5Gなどの普及に加えて、世界規模で電気自動車へのシフトが加速している。電気自動車に搭載されるリチウムイオンバッテリー用の銅箔需要増加を見据えた銅箔メーカーの設備投資は活発で、電着ドラムの需要はさらに伸びる。同分野のトップメーカーとして、新たに

開発した次世代ドラムを供給し、高級銅箔の薄肉化・高品質化に貢献していきたい。ドラム以外の製品は、日本製鉄や日鉄ステンレスとの連携によりお客さまの新たなニーズに適合した新材質、独自材質の製品ラインアップを拡充していく」と語る。

独自材質の製品群拡充

(石澤 翔太郎)